

## 1月19日 退職者連合 2016年新春のつどい 阿部保吉会長あいさつ

皆様、明けましておめでとうございます。本年もご指導のほど願い申し上げますとともに、ご多忙な中ご出席いただきました連合神津会長はじめご来賓の皆様に深く感謝を申し上げます。

連合のご指導のもとで取り組んでいます組織の拡充につきまして、昨年は約1万5千名を拡大することができました。そして本日の幹事会におきましては、新たに「連合本部退職者の会」の加入申請があり承認されたところです。新年早々、大変嬉しい報告をすることができまして関係者の皆様に心より敬意を表する次第です。

さて、迎えました2016年、政府の骨太方針2015によりますと社会保障費は厳しく抑制され、高齢者に対する給付の削減と負担増を余儀なくされようとしています。また、社会保障と税の一体改革の三党合意は完全に反故にされ、加えて消費税増税に伴って導入される軽減税率は、低所得対策に名を借りた自民・公明の選挙対策に過ぎません。更に、株価の下落により巨大な損失を発生させた年金積立金の株式投資は、政府の責任を明確にし、投資資金の回収に着手すべきです。

昨年、社会保障制度と直結する問題として連合と共に闘った労働法制の改悪についても、先の国会で継続審議とされた労基法改悪は絶対に許してはなりません。そのうえで厚生労働省が発表した「厚生年金有資格者で国民年金への加入を余儀なくされている200万人に及ぶ労働者の厚生年金加入」を早期に実施するよう主張してまいります。

昨年は戦後70年の節目の年でありましたが、安倍政権の暴走により憲法違反の集団的自衛権の行使を含む安全保障関連法が成立しました。強行採決により成立した憲法違反の法律は早急に廃止されなければなりません。そのためにも本年7月の参議院選挙は重要であり、連合候補12名はもとより、選挙区候補を含む退職者連合が推薦する全ての候補の必勝に向け全力で取り組むことを表明し、挨拶とします。

